

## 「幻の安土城」復元プロジェクトについて

### プロジェクトの目的・概要

「幻の安土城」復元プロジェクトは、謎に包まれた安土城の実像を解明し、目に見える形にすることにより、安土城の価値・魅力を発信し、県および地域の盛り上がり  
と将来における安土城復元を目指して、3つの柱で事業を進めています。

#### 【柱1】実像の解明と保全

##### 「令和の大調査」および史跡の保全・整備

- ・特別史跡安土城跡整備基本計画策定事業

#### 【柱2】デジタル技術を活用した見える化

デジタル技術を活用した安土城の見える化を進めるための基本計画の策定と安土城考古  
博物館の展示見直しに取り組んでいます。


- ・デジタル技術を活用した「幻の安土城」見える化基本計画策定事業
- ・安土城考古博物館展示リニューアル事業
- ・「安土山図屏風」等安土城関連資料探索事業

#### 【柱3】機運醸成

セミナーなどを通して安土城についての知識を深めてもらうとともに、観光部局と連携  
し、戦国をテーマとする観光キャンペーンを広く展開しています。

- ・ここ滋賀歴史セミナー
- ・お城エキスポ
- ・観光PR、キャンペーン（観光振興局）

【柱1】実像の解明と保全（令和の大調査、史跡の・保全・整備）

調査期間	主な調査結果等
昭和 15・16 年度の発掘調査	<p>安土城跡最初の学術的な発掘調査。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 調査対象は天主・本丸跡である。</li> <li>● 天主・本丸建物の礎石を検出し、金箔瓦をはじめとする遺物が発見された。</li> </ul>
昭和 35 年～50 年度の発掘調査	<p>安土城跡の主郭部の石垣修理事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和 37 年度、崩落土石の整理をした際、伝二の丸帯郭から門の礎石を検出した。</li> </ul>
平成元～20 年度の発掘調査	<p>特別史跡安土城跡調査・整備事業として実施。</p> <p>【調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 伝大手道と道沿いの郭群 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 伝大手道では、築城当時のものと考えられる道が検出された。</li> <li>● 伝羽柴秀吉邸跡・伝前田利家邸跡からは建物礎石が検出された。</li> <li>● 伝羽柴秀吉邸跡では、全ての建物構成が明らかにされた。</li> </ul> </li> <li>➢ 主郭部 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 伝二の丸東溜りより火を受けた礎石と、礎石の上に建つ焼け焦げた柱の痕跡や仕切りの壁が発見された。</li> <li>● 主郭部の炎上の様子を物語るものとして注目される。</li> <li>● 伝本丸建物の礎石が全て確認された。</li> </ul> </li> <li>➢ 南面 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 伝大手門跡より東に一つ、西に二つの虎口が発見された。</li> <li>● 南面の多目的広場からは内堀の石垣が検出された。</li> </ul> </li> </ul> <p>【整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 伝大手道の石段とルート、伝羽柴秀吉邸の石垣、伝大手口周辺の石塁と虎口等が整備された。</li> </ul> 



令和の大調査	<p>特別史跡安土城跡整備基本計画の策定（令和3～令和4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 史跡全体の8割が未調査となっている。</li> <li>● 調査地、規模、期間等は、令和4年度の検討事項となっている。</li> <li>● 天主が炎上・倒壊したと伝わる天主台北側等を調査地候補としている。</li> <li>● 実現すれば、天主に使われていた資材等の発見が期待される。</li> <li>● 発掘調査結果を踏まえ、石垣、見学通路等の整備を行う。</li> </ul>
--------	---

## 【柱2】 デジタル技術を活用した見える化

### 1 デジタル技術を活用した「幻の安土城」見える化基本計画（案）の概要

#### ① 目的

安土城に対する理解を深める

地域振興・観光振興につなげる

保存と活用の好循環を実現する

#### ② 基本的方向

##### ゾーニングによる「安土」の歴史文化の掘り起こしと物語化

安土城および城下町が持つ価値や魅力を、調査研究成果や現存する歴史文化資産等に基づく地域的な特性（ゾーニング）により、共通の背景や文脈を持つ“まとまり”として掘り起こし、利用者等にとってわかりやすく楽しめる物語へと展開します。

##### 見える化スポットの設置による周遊ルートの構築

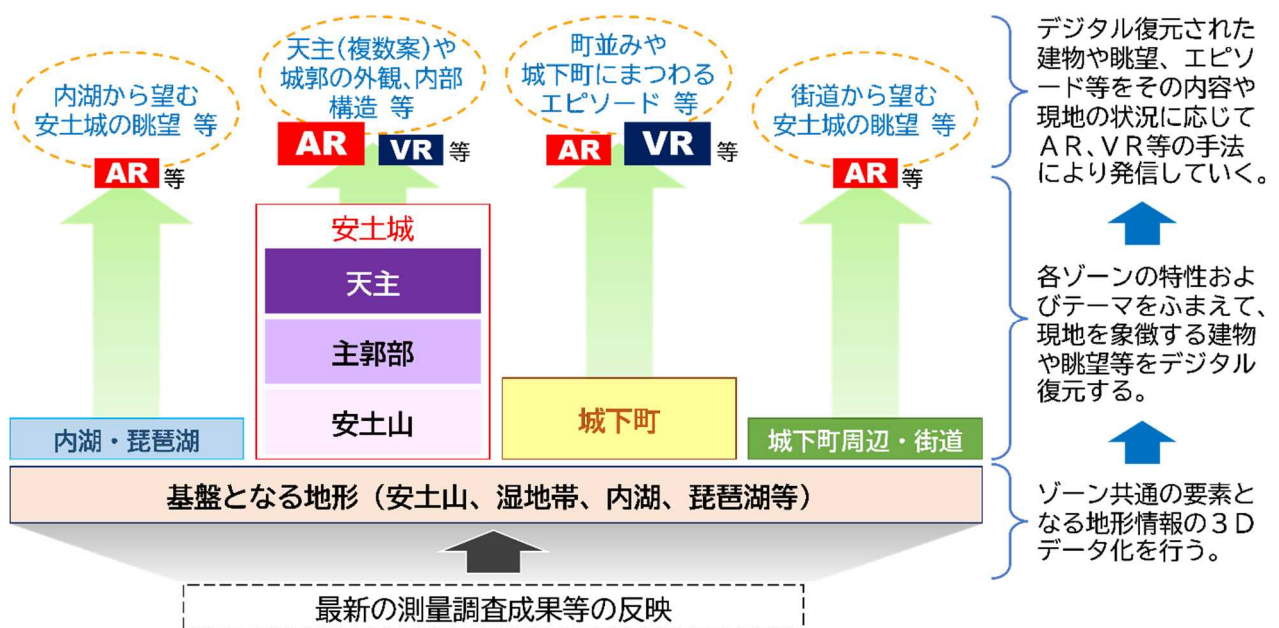
デジタル復元された安土城および城下町等の『見える化スポット』を巡り、拠点施設等をつなぐ周遊ルートを構築することで、安土の地に広がる重層的かつ多彩な価値や魅力を堪能する多くの観光客を誘い、地域全体の振興につなげます。

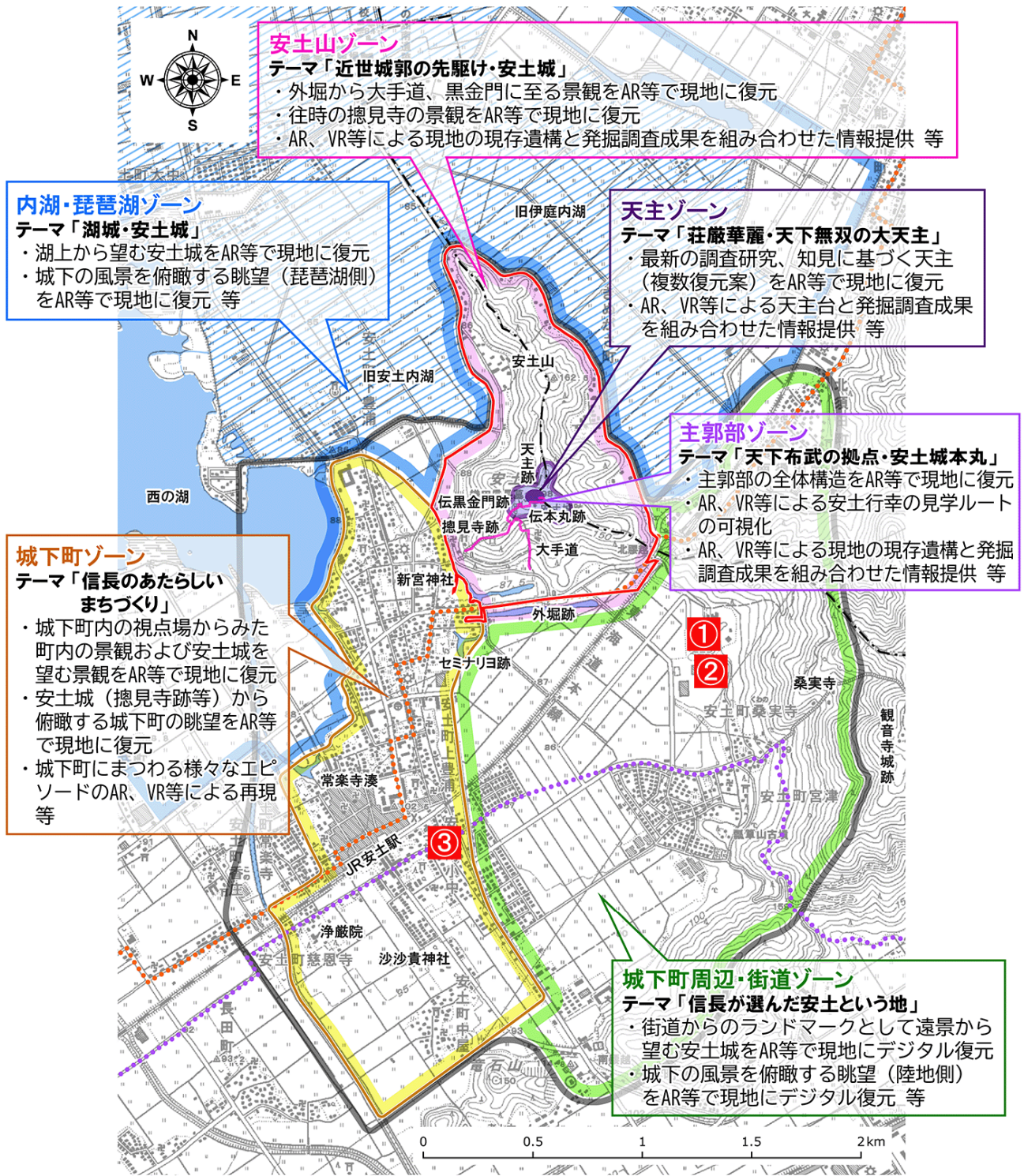
### ③ ゾーニング計画

安土城の調査研究成果をふまえて、対象範囲内について、地域の構造や歴史的背景、資産の分布状況等に基づき、城の中枢をなす天主及び主郭部を中心に、その他城郭部、安土城下町およびその周辺等の複数の地域区分（ゾーニング）を設定します。

<p><b>天主ゾーン</b> …特別史跡安土城跡のうち天主跡の区域。</p> <p><b>主郭部ゾーン</b> …特別史跡安土城跡のうち天主跡を除く主郭部（伝本丸跡、伝二ノ丸跡、伝三ノ丸跡、伝黒金門跡等）の区域。</p> <p><b>安土山ゾーン</b> …特別史跡安土城跡のうち安土城天主及び主郭部ゾーンを除く区域。また特別史跡外の一部（外堀周辺）を含む。</p>	<p><b>城下町ゾーン</b> …城下町跡（推定）の範囲。</p> <p><b>城下町周辺・街道ゾーン</b> …安土城下町ゾーン東側の農地（JR線以北・以南）及び街道（下街道・景清道）沿道の範囲。安土城考古博物館及び周辺。</p> <p><b>内湖・琵琶湖ゾーン</b> …西の湖周辺及び安土山を囲む旧内湖（安土内湖・伊庭内湖）の範囲。加えて遠景となる旧内湖（大中の湖）及び琵琶湖を含む。</p>
--	--

### ゾーンに応じた見える化の基本的考え方





**安土山ゾーン**

**テーマ「近世城郭の先駆け・安土城」**

- ・外堀から大手道、黒金門に至る景観をAR等で現地に復元
- ・往時の摠見寺の景観をAR等で現地に復元
- ・AR、VR等による現地の現存遺構と発掘調査成果を組み合わせた情報提供 等

**内湖・琵琶湖ゾーン**

**テーマ「湖城・安土城」**

- ・湖上から望む安土城をAR等で現地に復元
- ・城下の風景を俯瞰する眺望（琵琶湖側）をAR等で現地に復元 等

**天主ゾーン**

**テーマ「荘厳華麗・天下無双の大天主」**

- ・最新の調査研究、知見に基づく天主（複数復元案）をAR等で現地に復元
- ・AR、VR等による天主台と発掘調査成果を組み合わせた情報提供 等

**主郭部ゾーン**

**テーマ「天下布武の拠点・安土城本丸」**

- ・主郭部の全体構造をAR等で現地に復元
- ・AR、VR等による安土行幸の見学ルートの可視化
- ・AR、VR等による現地の現存遺構と発掘調査成果を組み合わせた情報提供 等

**城下町ゾーン**

**テーマ「信長のあたらしいまちづくり」**

- ・城下町内の視点場からみた町内の景観および安土城を望む景観をAR等で現地に復元
- ・安土城（摠見寺跡等）から俯瞰する城下町の眺望をAR等で現地に復元
- ・城下町にまつわる様々なエピソードのAR、VR等による再現 等

**城下町周辺・街道ゾーン**

**テーマ「信長が選んだ安土という地」**

- ・街道からのランドマークとして遠景から望む安土城をAR等で現地にデジタル復元
- ・城下の風景を俯瞰する眺望（陸地側）をAR等で現地にデジタル復元 等

- |            |            |                      |
|------------|------------|----------------------|
| 基本計画 対象範囲  | 水域         | 下街道（朝鮮人街道）           |
| 主な拠点施設     | 旧内湖（干拓地）   | 景清道                  |
| ①安土城考古博物館  | 特別史跡指定地    | 主な登城道<br>（大手道、百々橋口道） |
| ②安土城天主信長の館 | 城下町の範囲（推定） |                      |
| ③安土城郭資料館   |            |                      |

#### ④ 見える化スポットの設置による周遊ルート構築

安土城および城下町の多様な価値に触れ、その魅力をより深く楽しむため、ゾーン各地の「見える化スポット」や拠点施設等を巡り、地域を回遊する周遊ルートを設定します。

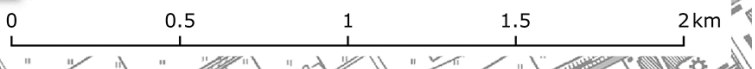
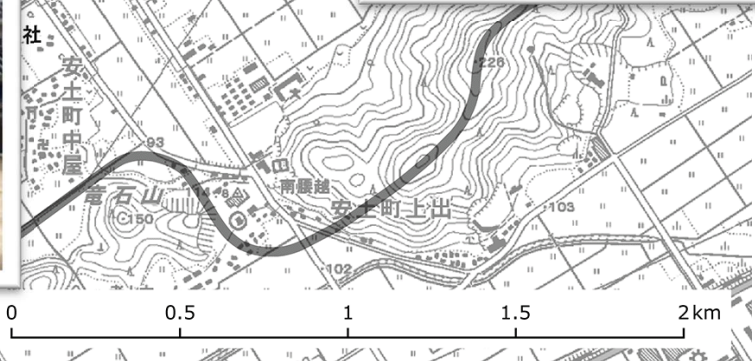


#### イメージ図

住民・地元自治会・地権者・道路管理者・警察（交通）等との調整のうえ複数のルート・スポットを設定します。



- 安土城考古博物館
- 安土城天主信長の館



## 2 安土城考古博物館展示リニューアル



### リニューアルの背景

#### 1 本館の課題と改善方針

「幻の安土城」復元プロジェクト（※）の中核施設としての機能強化が必要

- **利用者ニーズとのかい離** : 展示コンセプト・テーマの設定など
- **設備・展示の老朽化** : 展示物や手法の見直し、更新性への配慮など
- **公開承認施設の機能維持** : 空間環境・設備・展示ケースの改修など
- **利用者サービスの充実** : 多言語対応、オンラインコンテンツの充実など
- **回遊のしくみづくり** : ガイダンス機能の充実、サインの設置など
- **集客性の向上** : 情報発信の取組強化、名称・愛称の見直しなど

現在、入館者数は  
1994（平成6）年の  
8.5万人をピークに減  
少傾向。近年は4万  
人前後に。

※「幻の安土城」復元プロジェクトとは、安土城の実像を解明し、それを目に見える形で復元することで、安土城の魅力をより多くの人々に実感してもらうことを目的として実施している事業です。

#### 2 本館の強み

- **豊富な収蔵品** : 戦国・織豊期のコレクション、摺見寺の寄託品
- **歴史的な立地環境** : 戦国末・織豊期の近江の拠点城郭が付近に存在
- **豊富な展覧会実績** : 城と考古をテーマとして年4回開催、固定ファンあり

### リニューアルによりめざす姿

安土城と信長・戦国をテーマとする唯一無二の博物館として、  
その情報・魅力を発信する

**安土城・信長・戦国 魅力発信拠点**

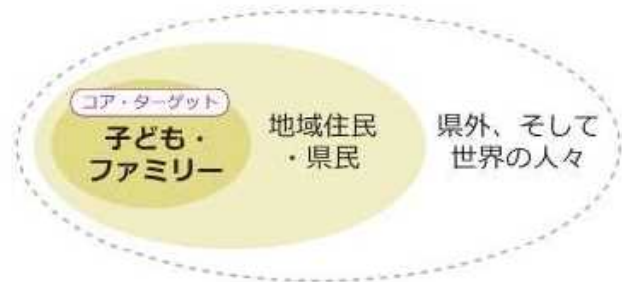
#### リニューアルのメリット

- 「幻の安土城」復元プロジェクトの中核施設としての機能強化
- 利用者ニーズとのかい離の解消
- 最新の研究成果を反映できるスペースの確保
- 新しい展示手法の導入 など

集客の向上・  
入館者の増加

## ターゲット

- 本館は社会教育施設であるため、オールターゲットの展示・活動を行います。新しい展示においては、特に「子ども・ファミリー」をコア・ターゲットとして位置づけ、集客力の向上を目指します。



## 展示リニューアル方針

- 「安土城・信長・戦国 魅力発信拠点」の実現に向けて、4つの基本方針を設定しました。
- **唯一性**：本館の強みを活かした展示リニューアルによる文化財の保護や公開活用
- **継続性**：公開承認施設としての機能保持・改善
- **多様性**：障害の有無や年齢・国籍に関わらず、訪れる全ての人々が楽しみ、学べる展示
- **回遊性**：本館を基点に、近江風土記の丘や県内の観光施設等への回遊につながるしかけ



## 期待される効果

- 展示リニューアルを一つの起爆剤として、滋賀県全体の文化振興および観光振興を図り、本県と安土エリアのさらなるブランド力向上を目指します。

## 滋賀県・安土エリアのブランド力向上





## 常設展示室のリニューアル内容について

### 1 展示方針

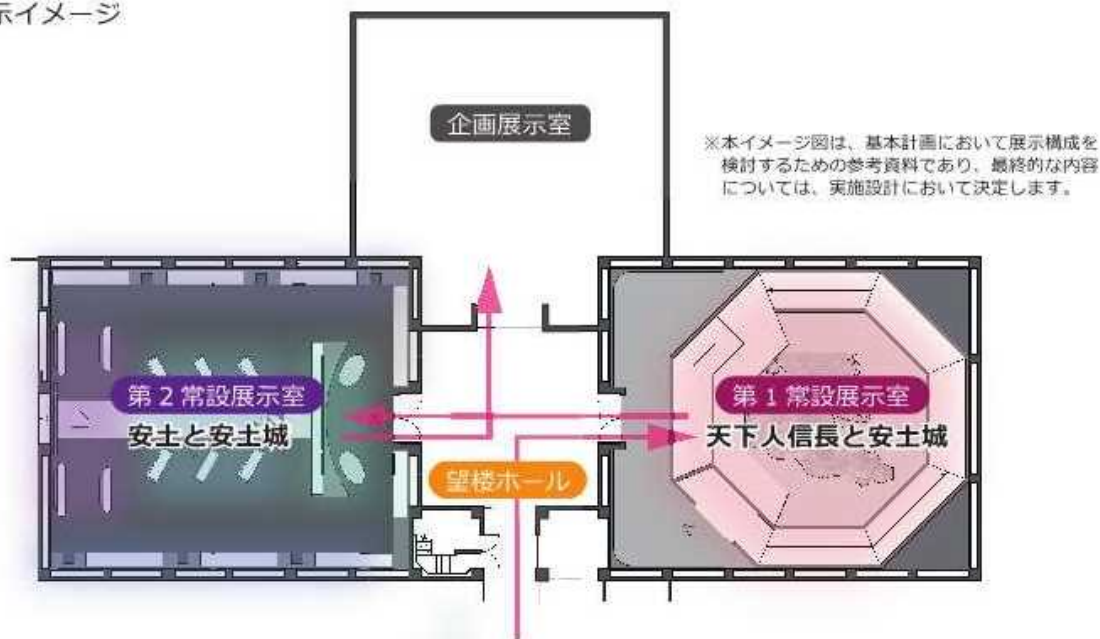
- 安土城・信長・戦国を誰にも分かりやすく、楽しく伝える展示
- 安土城跡のガイダンスおよび安土城登城の疑似体験となり得る展示
- 県民との連携および利用者の参画を促す展示
- いつ、何度来ても発見のある展示

### 2 展示コンセプト

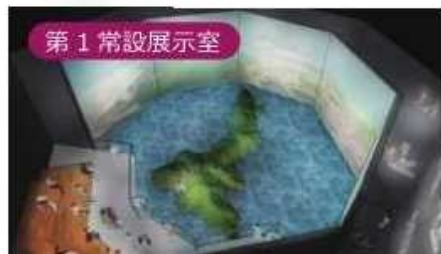
#### 安土城・信長・戦国の世界を体感できる展示

- 「安土城・信長・戦国」をテーマに、第1常設展示室では安土城と信長に関するガイダンス展示を、第2常設展示室では社会背景や取り巻く環境など戦国という時代を多角的に紹介する展示を行います。
- 望楼ホールでは、両展示室との一体性を持たせるために、その吹き抜けの高さや印象的な形状を活かしたイメージ展示を展開します。

### 3 展示イメージ



映像では得られないものとして、貴重な実物資料や発掘資料等の展示を中心とした鑑賞空間を目指します。



展示室全体を没入感のあるガイダンスシアターとするなど、安土城や信長の世界を総合的に伝える、ダイナミックな映像空間を目指します。



第1・第2常設展示室や企画展示室への入口および経由地として、各展示室への期待感を高めることをねらいとします。

## 展示リニューアルの整備範囲

- 主に展示活動に係る以下の諸室を整備範囲とします。

### 安土城・信長・戦国ゾーン

- ・第1常設展示室
- ・第2常設展示室
- ・望楼ホール

### 近江風土記の丘ガイダンスゾーン

- ・エントランスホール  
→近江風土記の丘のガイダンスや県全体の周遊を高める情報発信機能を強化

### 埋蔵文化財ゾーン

- ・回廊展示（活用促進）

### 体験活用ゾーン

- ・中庭・屋外（活用促進）



## 博物館を基点とした回遊性の向上を目指して

- リニューアルでは、本館だけでなく近江風土記の丘の史跡や近隣の水郷・八幡地区、さらには県内の城跡や観光施設への回遊につながるしかけを検討します。
- 文化振興・観光振興のさらなる促進を図り、滋賀県と安土エリアのさらなるブランド力向上を目指します。



## 事業スケジュール（予定）

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
全体計画	第1常設展示室リニューアル（エントランスホール・望楼ホール含む）					
本基本計画	各種調整・調査等	実施設計	工事施工（1期）	枯らし期間・開館準備	第1常設展示室オープン ・大阪・関西万博 ・国スポ・障スポ	安土城築城450年祭

※第2常設展示室リニューアル（実施設計・工事・枯らし・開館準備・オープン）の時期は未定

令和3年3月 滋賀県文化スポーツ部文化財保護課  
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1  
TEL:077-528-4678 FAX:077-528-4956

博物館に関する情報はコチラ  
<http://azuchi-museum.or.jp/>



### 3 安土山図屏風等の資料探索

#### ① 情報収集

- ア 「安土山図屏風」等安土城関連資料探索HPの公開(R3.10.26～)
- イ 「安土山図屏風」等安土城関連資料探索チラシの作成
- ウ 在日外国人特派員への情報提供
- エ 知事による大使館等の関連機関訪問
- オ 研究者・関係者等への意見聴取

#### ② 情報分析・調査等

- ア 寄せられた情報を分析のうえ、必要に応じて現物を確認し、資料的価値を評価する。
- イ 資料的価値が高いものについては、安土城考古博物館での展示公開を目指す。

## 【柱3】機運醸成

### 1 観光施策

観光PR・キャンペーン等

(令和3年度の取り組み)

「滋賀の魅力」観光PR事業・今こそ滋賀を旅しよう！宿泊キャンペーン事業等

### 2 文化財保護普及啓発事業

セミナー・現地探訪等

(令和3年度の取り組み)

お城EXPO、ここ滋賀歴史セミナー、連続講座「近江の城郭」等

